

函館市ひとり親家庭に関するアンケート調査結果報告書

函館市子ども未来部

令和3年9月

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果	2
1	家計の状況について	2
2	仕事について	4
3	ひとり親家庭サポート・ステーションについて	9
4	お子さんの学習について	11
5	養育費について	14
6	面会交流について	17
7	新型コロナウイルス感染症の影響について	19
8	世帯の状況について	21
9	ひとり親家庭への支援施策について	23
III	まとめ	25
IV	資料編(アンケート調査票)	26

函館市ひとり親家庭に関するアンケート調査結果報告書

I 調査の概要

1 目的

本市のひとり親家庭の実態について把握し、今後のひとり親家庭の支援策の参考とするため調査を実施しました。

2 調査対象

児童扶養手当受給資格者

3 調査方法

- ・無記名による web アンケート方式
- ・調査対象者に案内文を送付，調査対象者がインターネット上で回答

4 実施期間

令和2年12月16日～令和3年1月20日

5 回答状況

- ・調査対象数 3,566件
- ・回答数 661件
- ・回答率 18.5%

6 集計方法

- ・結果数値(%)は小数第2位を四捨五入していますが、合計を100%にするため、四捨五入により調整している箇所があります。
- ・複数回答の項目における割合(%)については、回答数を分母として集計しています。

※ グラフタイトル横のnの値は、回答数を表しています。

Ⅱ 調査結果

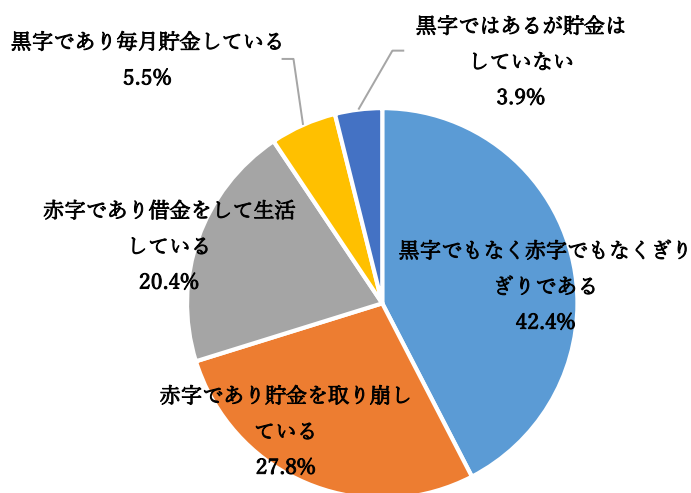
1 家計の状況について

設問 1 あなたの現在の家計の状況について、もっとも近いもの1つを選択してください。(住宅ローンや車のローンなども支出に含めてお答えください。)

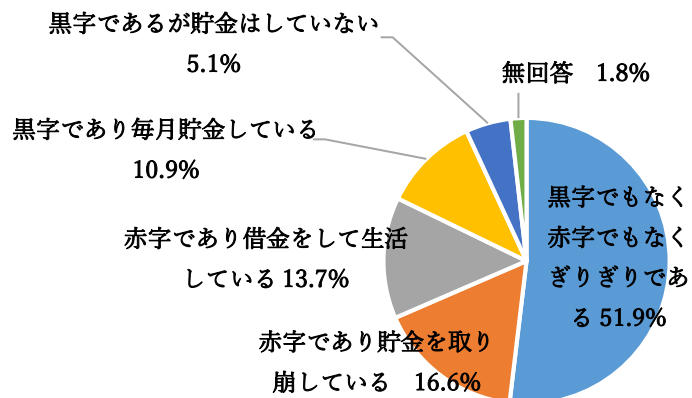
現在の家計の状況については、「黒字でもなく赤字でもなくぎりぎりである」が42.4%と最も多く、次いで「赤字であり貯金を取り崩している」(27.8%)、「赤字であり借金をして生活している」(20.4%)と赤字と答えた世帯の割合は48.2%となっており、「黒字であり毎月貯金している」(5.5%)、「黒字ではあるが貯金はしていない」(3.9%)と黒字と答えた世帯の割合は9.4%となっています。

また、平成29年度実施の「函館市子ども生活実態調査結果」と比較すると、赤字と答えた方の割合が30.3%であったので、17.9ポイント増加しており、一方で黒字と答えた方の割合が16.0%であったので、6.6ポイント減少しています。

現在の家計の状況 n=661

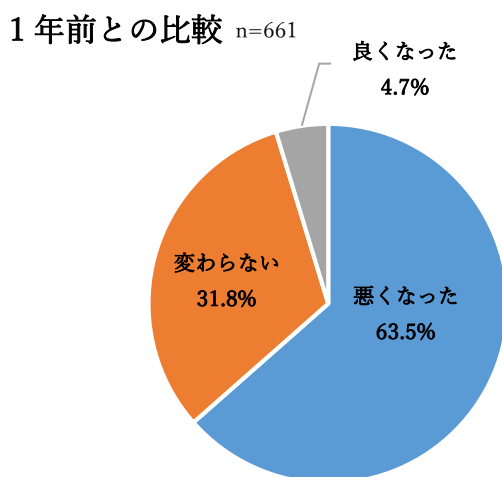


函館市子ども生活実態調査 (平成29年度)



設問2 1年前と比べてあなたの家計はどう変わりましたか。あてはまるもの1つを選択してください。

「悪くなった」との回答が63.5%となっており、「良くなった」と答えた方は4.7%にとどまっています。

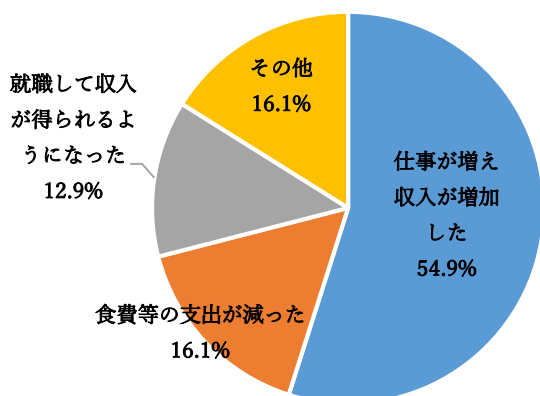


設問3 設問2で「良くなった」、「悪くなった」を選択された方は、あてはまるものを選択してください。(複数回答可)

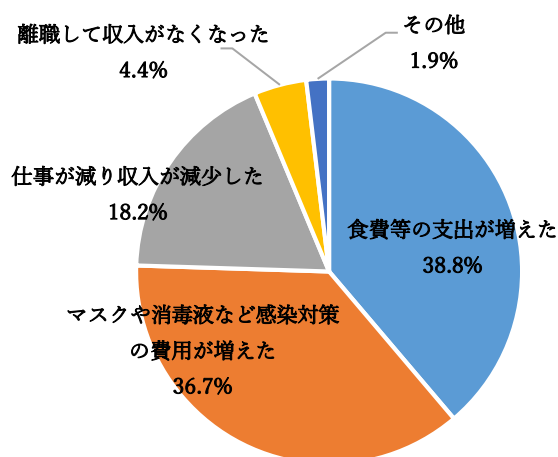
家計の状況変化について、1年前との比較で「良くなった」と答えた方の状況をうかがったところ、「仕事が増え収入が増加した」が54.9%、「食費等の支出が減った」が16.1%などとなっている。

一方、「悪くなった」と答えた方の状況をうかがったところ、「食費等の支出が増えた」が38.8%、「マスクや消毒液など感染対策の費用が増えた」が36.7%となるなど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、家計に大きく影響していることがうかがえます。

■良くなった
家計状況の変化 (複数回答可) n=31



■悪くなった
家計状況の変化 (複数回答可) n=882



設問4 設問3で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

■「良くなった」のその他の回答内容

- ・「子どもが粉ミルクを卒業したため、その分の費用がかからなくなった」
- ・「ボーナスの支給額が上がった」 など

■「悪くなった」のその他の回答内容

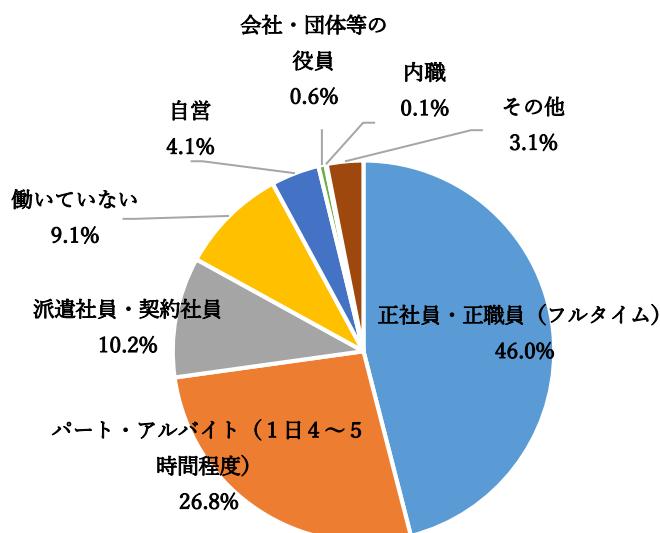
- ・「子どもが私立高校に進学し、学費等の支出が増えた」
- ・「元夫の借金を返している」
- ・「離婚したため」 など

2 仕事について

設問5 あなたの現在の雇用形態について、あてはまるものを選択してください。(複数回答可)

現在の雇用形態については、「正社員・正職員(フルタイム)」が46.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト(1日4~5時間程度)」が26.8%、「派遣社員・契約社員」が10.2%、「働いていない」が9.1%、「自営」が4.1%などとなっています。

現在の雇用形態 (複数回答可) n=683

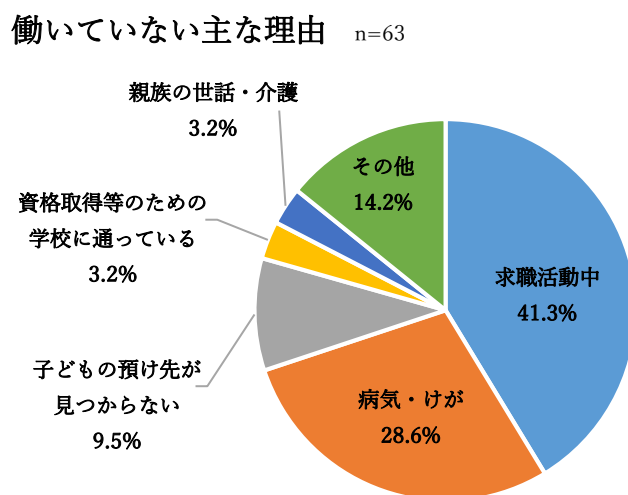


設問6 設問5で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

- ・「ダブルワーク」
- ・「上記時間以外のパート」 など

設問7 設問5で「働いていない」を選択された方はその主な理由について、あてはまるもの1つを選択してください。

働いていない主な理由としては、「求職活動中」が41.3%と最も多く、次いで「病気・けが」が28.6%、「子どもの預け先が見つからない」が9.5%などとなっています。



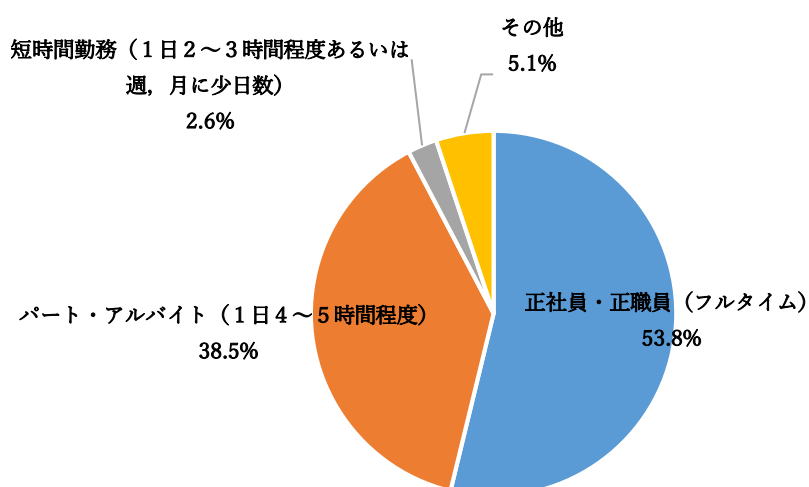
設問8 設問7で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

- ・「コロナの影響」
- ・「障がいがあるため」 など

設問 9 設問 7 で「求職活動中」を選択された方について、どのような雇用形態の仕事に就きたいと考えていますか。あてはまるもの 1 つを選択してください。

求職活動中の方が希望する雇用形態としては、「正社員・正職員（フルタイム）」が 53.8% と最も多く、次いで「パート・アルバイト（1 日 4~5 時間程度）」が 38.5%、「短時間勤務（1 日 2~3 時間程度あるいは週、月に少日数）」が 2.6% となっています。

求職活動中の方が希望する雇用形態 n=39



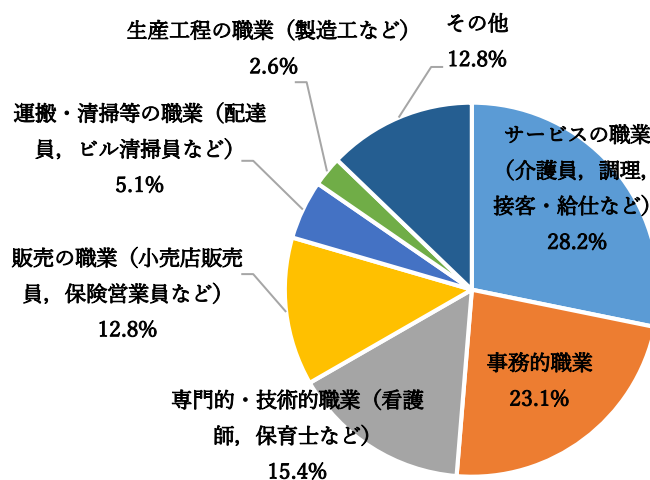
設問 10 設問 9 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

- ・「土日が休み」
- ・「手取りが多い」 など

設問 1 1 設問 7 で「求職活動中」を選択された方について、どのような職種の仕事に就きたいと考えていますか。あてはまるもの 1 つを選択してください。

求職活動中の方が希望する仕事の職種としては、「サービスの職業(介護員, 調理, 接客・給仕など)」が 28.2%と最も多くなっていますが, 「事務的職業」が 23.1%, 「専門的・技術的職業(看護師, 保育士など)」が 15.4%, 「販売の職業(小売店販売員, 保険営業員など)」が 12.8%などと様々です。

求職活動中の方が希望する仕事の職種 n=39



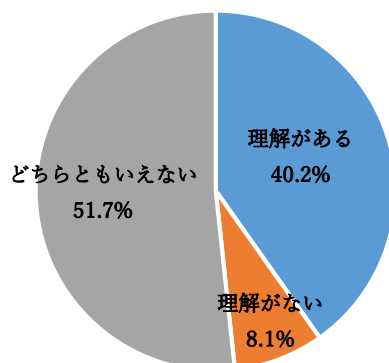
設問 1 2 設問 1 1 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

・「日にちや時間に融通がきくところ」 など

設問 1 3 働いている方におうかがいします。あなたの職場は、ひとり親家庭に対して理解がありますか。あてはまるもの 1 つを選択してください。

働いている方の職場のひとり親家庭への理解については、「理解がある」(40.2%), 「理解がない」(8.1%)となっていますが, 「どちらともいえない」が 51.7%と半数を占めています。

ひとり親家庭に対する理解 n=594



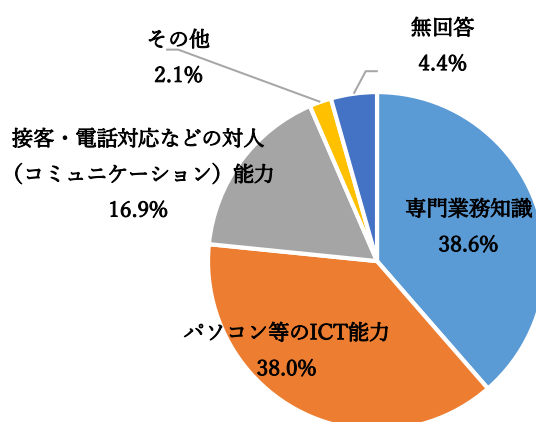
設問 14 設問 13で「理解がある」「理解がない」を選択された方は、どのような点が具体的に記入してください。

- 「理解がある」の具体的内容
 - ・「休みが取りやすい」
 - ・「学校行事を優先してくれる」
 - ・「定時に帰れる」 など
- 「理解がない」の具体的内容
 - ・「休みが取りにくい」
 - ・「残業が多い」 など

設問 15 今後働く場合にどのような能力(スキル)が必要と考えますか。あてはまるもの1つを選択してください。

今後働く場合に必要な能力(スキル)については、「専門業務知識」が38.6%、「パソコン等のICT能力」(38.0%)、「接客・電話対応などの対人(コミュニケーション)能力」(16.9%)などとなっています。

今後働く場合に必要な能力(スキル) n=661



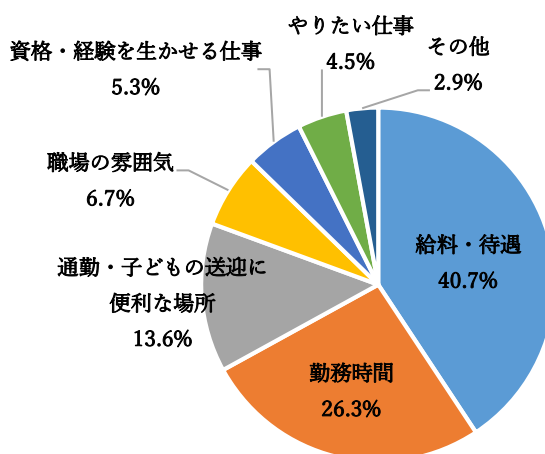
設問 16 設問 15で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

- ・「国家資格」
- ・「介護職場での上級資格」
- ・「自動車免許」 など

設問 17 仕事を決める際の優先順位について、1つを選択してください。

仕事を決める際の優先順位については、「給料・待遇」が40.7%、「勤務時間」が26.3%、「通勤・子どもの送迎に便利な場所」が13.6%などとなっています。

仕事を決める際の優先順位 n=661



設問 18 設問 17で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

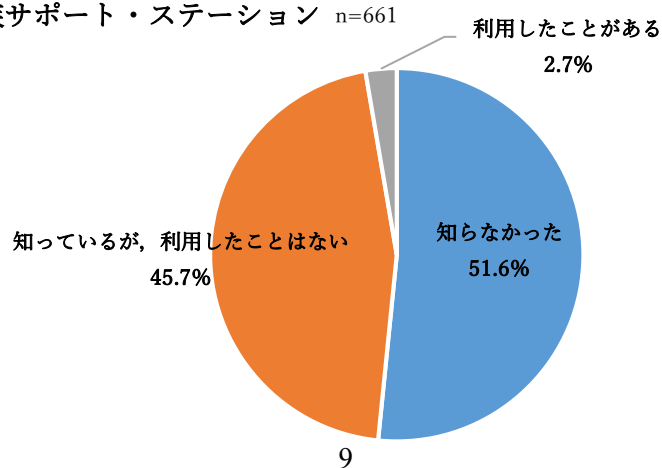
- ・「ひとり親家庭への理解」
- ・「子どもの行事や体調などで休みが取れる職場」
- ・「福利厚生」 など

3 ひとり親家庭サポート・ステーションについて

設問 19 市ではひとり親家庭の皆さんの悩みごとの相談に応じるため、「ひとり親家庭サポート・ステーション」を設置していますが、あてはまるもの1つを選択してください。

ひとり親家庭サポート・ステーションについて、「知らなかった」が51.6%、「知っているが、利用したことはない」が45.7%となっており、「利用したことがある」は2.7%という結果から、ひとり親家庭サポート・ステーションの認知度が低く、利用にもつながっていない状況です。

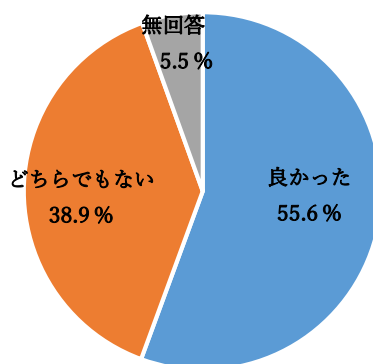
ひとり親家庭サポート・ステーション n=661



設問 20 設問 19 で「利用したことがある」を選択された方は、感想をお聞かせください。

ひとり親家庭サポート・ステーションを利用した感想については、「良かった」が 55.6%で、「どちらでもない」が38.9%となっています。

利用した感想 n=18



設問 21 設問 20 で「良かった」「悪かった」を選択された方は、どういう点か具体的に記入してください。

■「良かった」の具体的内容

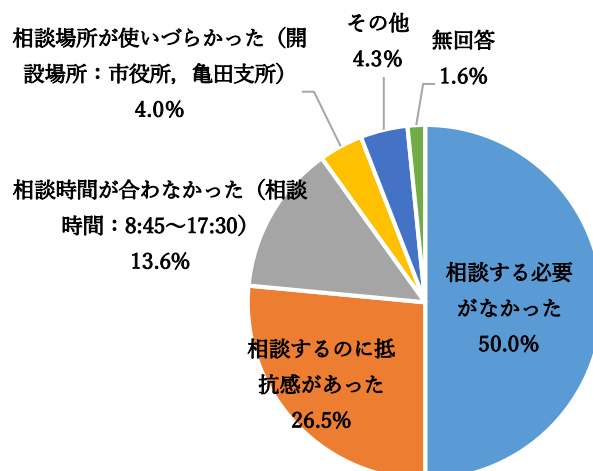
- ・「相談することで安心できた」
- ・「親身になって話を聞いてくれて具体的なアドバイスをいただいた」 など

■「悪かった」との回答はなかった。

設問 22 設問 19 で「知っているが利用したことはない」を選択された方は、利用しない理由について、あてはまるもの 1 つを選択してください。

利用しない理由については、「相談する必要がなかった」が 50.0%と半数を占め、次いで「相談するのに抵抗感があった」が 26.5%、「相談時間が合わなかった(相談時間：8:45～17:30)」が 13.6%などとなっています。

利用しない理由 n=302



設問 2 3 設問 2 2 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

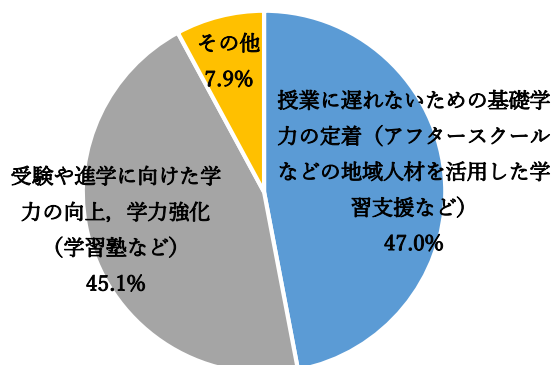
- ・「他人に頼るよりも自分の親を頼った」
- ・「特に理由はなく、何かあれば利用することがあるかもしれない」 など

4 お子さんの学習について

設問 2 4 あなたのお子さんに対する学習支援について、どのようなことを期待しますか。あてはまるもの 1 つを選択してください。

希望する学習支援については、「授業に遅れないための基礎学力の定着(アフタースクールなどの地域人材を活用した学習支援など)」が 47.0%で、次いで「受験や進学に向けた学力の向上, 学力強化(学習塾など)」が 45.1% となっており、二分されています。

希望する学習支援 n=661



設問 2 5 設問 2 4 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

- ・「子ども一人ひとりにあった学習サポート」
- ・「社会に出てから自立していくことに困ることのない教育」
- ・「英語などの外国語に触れられる環境」
- ・「母子家庭や低所得家庭を対象とした無料の塾や講座」
- ・「学力向上や進学に関する金銭的な支援」 など

設問 2 6 お子さんを学習塾に通わせていますか。あてはまるもの1つを選択してください。

学習塾の利用状況については、「通わせていない」が84.4%となっており、「通わせている」が15.6%にとどまっています。

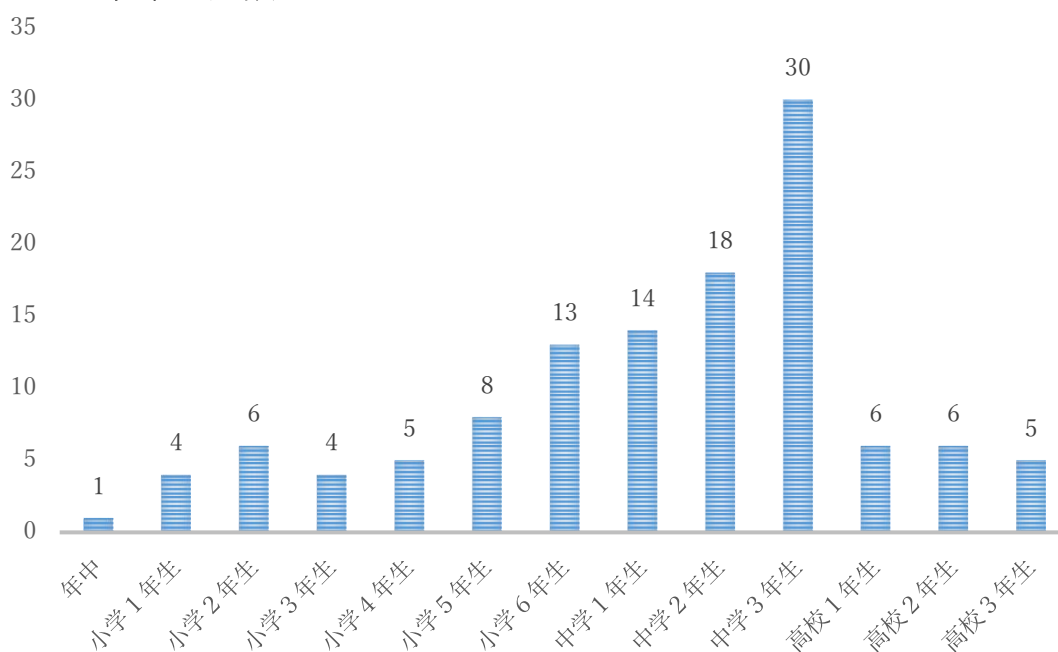
学習塾の利用の状況 n=661



設問 2 7 設問 2 6 で「通わせている」を選択された方は、お子さんの学年と人数を記載してください。

学習塾に通っている子どもの学年別では、多い順から中学3年生が30人(25.0%)、中学2年生が18人(15.0%)、中学1年生が14人(11.7%)、小学6年生が13人(10.8%)などとなっており、これらの学年が全体(120人)の半数以上を占めています。

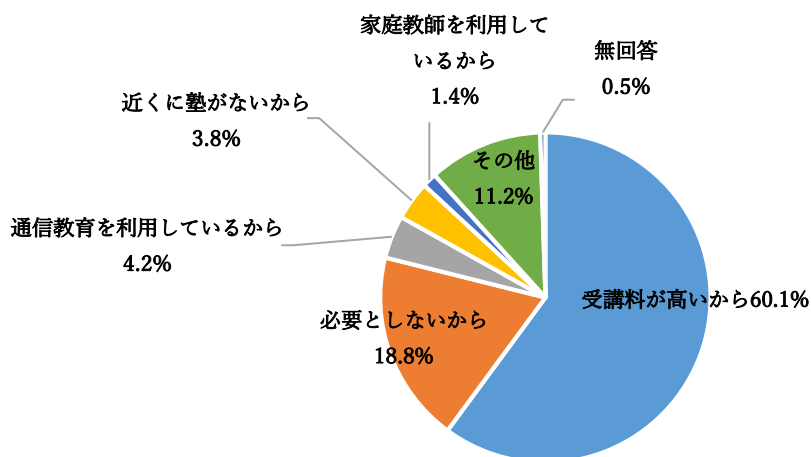
(人) 学年と人数 n=95



設問 28 設問 26 で「通わせていない」を選択された方は、理由について、あてはまるもの 1 つを選択してください。

学習塾に通わせていない理由としては、「受講料が高いから」が 60.1%と最も多く、ひとり親家庭にとって経済的負担が大きいことが障がいとなっています。

学習塾に通わせていない理由 n=554



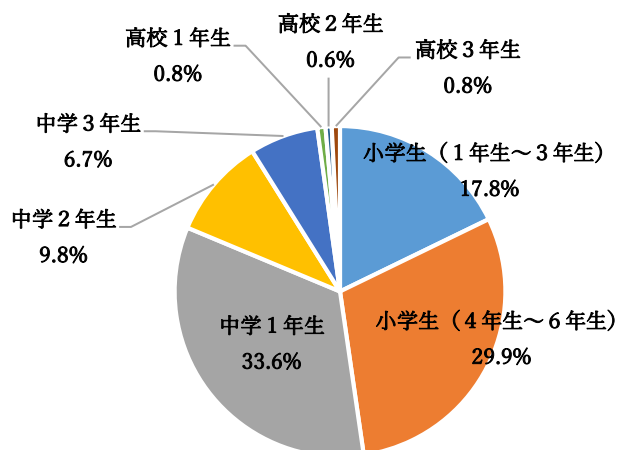
設問 29 設問 28 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

- ・「まだ小さく通う年齢ではない」
- ・「行きたがらない」 など

設問 30 皆さんにお伺いします。学習塾に通わせるとしたら何年生からが望ましいと思いますか。あてはまるもの 1 つを選択してください。

学習塾の利用を希望する学年については、「中学 1 年生」が 33.6%と最も多く、次いで「小学生(4 年生～6 年生)」が 29.9%となっており、小学生高学年や中学生からという希望が多くなっています。

学習塾利用の希望学年 n=661

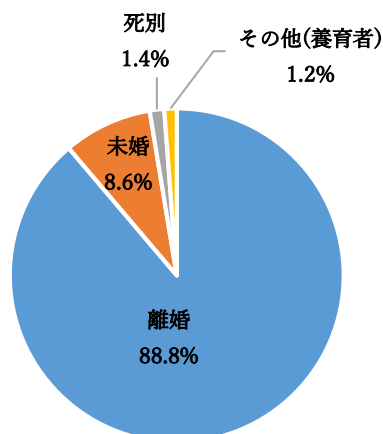


5 養育費について

設問 3 1 あなたがひとり親になった理由について、あてはまるものを1つ選択してください。

ひとり親になった理由については、「離婚」が 88.8%、「未婚」が 8.6%、「死別」が 1.4%などとなっています。

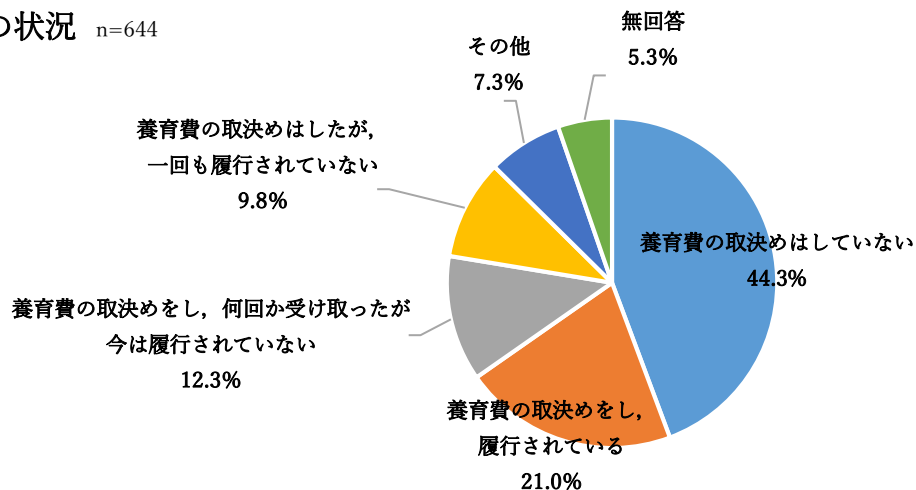
ひとり親になった理由 n=661



設問 3 2 養育費について、あてはまるもの1つを選択してください。

養育費の状況については、「養育費の取決めはしていない」が 44.3%、「養育費の取決めをし、履行されている」が21.0%、「養育費の取決めをし、何回か受け取ったが今は履行されていない」が12.3%、「養育費の取決めはしたが、一回も履行されていない」が9.8%などとなっています。

養育費の状況 n=644



設問 3 3 設問 3 2 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

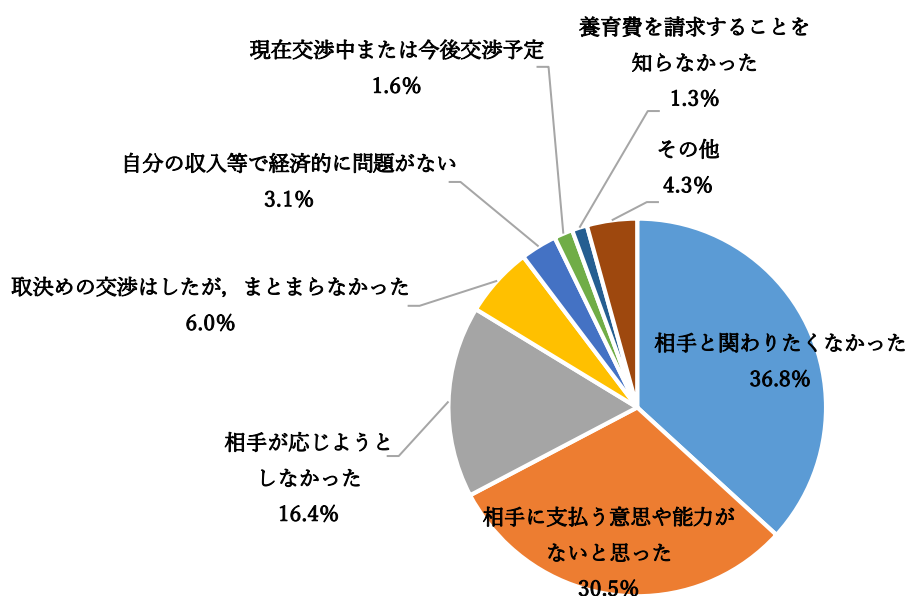
- ・「養育費をもらわないことが離婚の条件」
- ・「DV で避難」
- ・「借金返済を優先してもらっている」 など

設問 3 4 設問 3 2 で「養育費の取決めはしていない」を選択された方にお伺いします。

あてはまるものすべてを選択してください。(複数回答可)

養育費の取決めをしていない理由については、「相手と関わりたくなかった」が36.8%と最も多く、次いで「相手に支払う意思や能力がないと思った」が30.5%、「相手が応じようとしなかった」が16.4%などとなっています。

養育費の取決めをしていない理由 (複数回答可) n=450



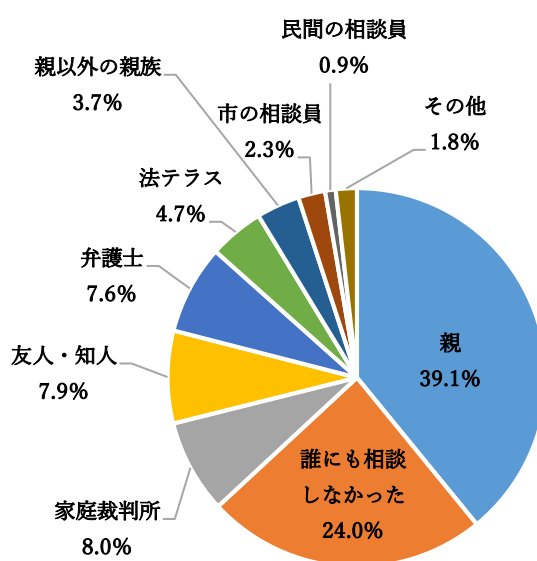
設問 3 5 設問 3 4 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

- ・「連絡が取れない」
- ・「お互い子どもを引き取った」 など

設問 3 6 養育費の取決めについて誰かに相談しましたか。あてはまるものすべてを選択してください。(複数回答可)

養育費の相談については、「親」に相談したとの回答が 39.1%となっており、「誰にも相談しなかった」が 24.0%となっています。なお、「家庭裁判所」(8.0%)、「弁護士」(7.6%)、「法テラス」(4.7%)など専門窓口への相談は少ない状況となっています。

養育費の相談（複数回答可） n=626



設問 3 7 設問 3 6で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

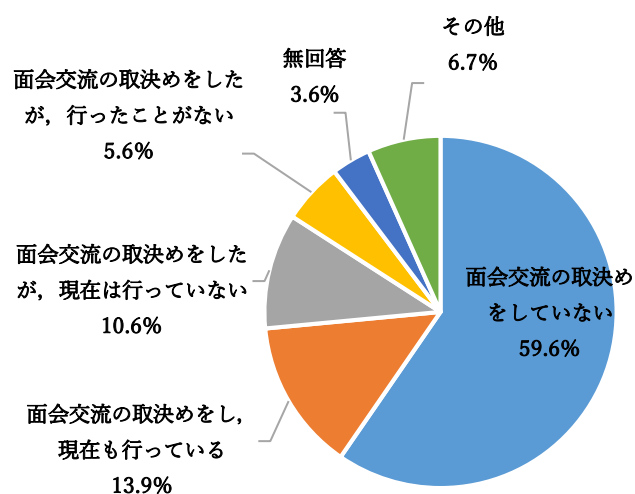
- ・「司法書士」
- ・「行政書士」 など

6 面会交流について

設問 38 面会交流について、あてはまるもの1つを選択してください。

面会交流の取決め状況については、「面会交流の取決めをしてない」が59.6%と半数以上を占め、次いで「面会交流の取決めをし、現在も行っている」が13.9%、「面会交流の取決めをしたが、現在は行っていない」が10.6%などとなっています。

面会交流の取決め状況 n=661



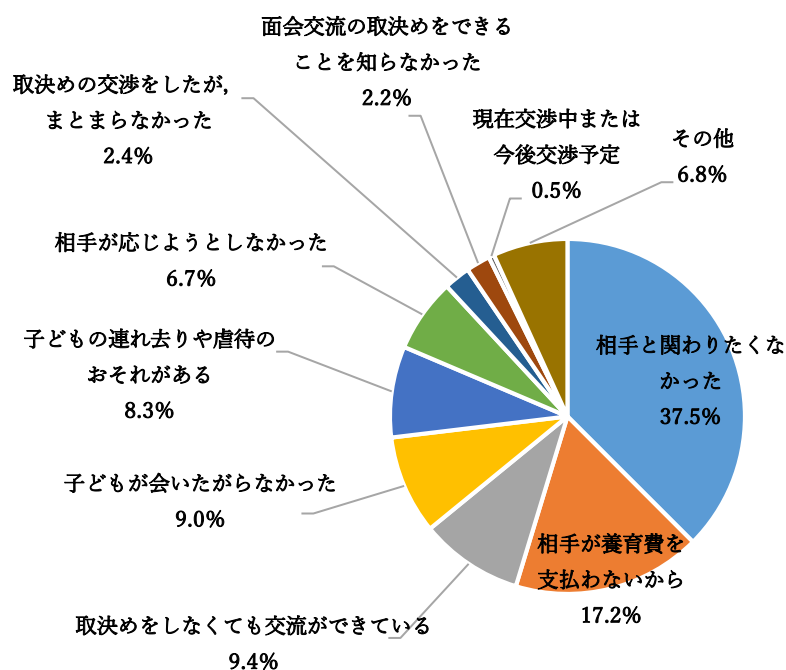
設問 39 設問 38で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

- ・「音信不通」
- ・「遠方のため面会は不可能」 など

設問 4 0 設問 3 8 で「面会交流の取決めをしていない」を選択された方にお伺いします。
あてはまるものすべてを選択してください。(複数回答可)

面会交流の取決めをしていない理由については、「相手と関わりたくなかった」との回答が37.5%と最も多く、次いで「相手が養育費を支払わないから」が17.2%、「取決めをしなくても交流ができている」が9.4%、「子どもが会いたがらなかった」が9.0%などとなっています。

面会交流の取決めをしていない理由 (複数回答可) n=400

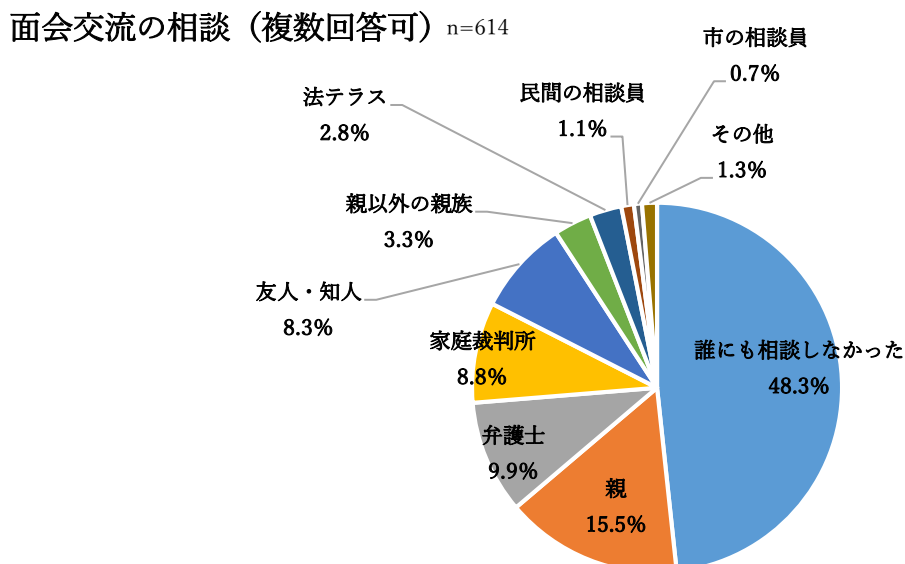


設問 4 1 設問 4 0 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

- ・「相手が会いたがらない」
- ・「遠距離のため」
- ・「相手が再婚したため」 など

設問 4 2 面会交流の取決めについて誰かに相談しましたか。あてはまるものすべてを選択してください。(複数回答可)

面会交流の相談については、「誰にも相談しなかった」が48.3%と半数近くを占め、次いで「親」が15.5%などとなっています。



設問 4 3 設問 4 2で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
・「行政書士」 など

7 新型コロナウイルス感染症の影響について

設問 4 4 新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたが現在困っていることについて、記入してください。

新型コロナウイルス感染症の影響で困っていることとしては、経済的な不安に関する回答が283件(回答総数の57.2%)、感染への不安に関する回答が81件(同16.4%)、子どもの面倒への不安に関する回答が41件(同8.3%)などとなっています。(回答総数495件)

■主なもの

【経済的な不安】(283件)

- ・「会社の売上げが減り、人員削減等で収入が不安定になった」
- ・「感染したら仕事に行けなくなり収入が減少する不安がある」
- ・「勤務先の業務縮小によりパート時間が減るため収入が半分以下になる」

- ・「正社員として働いているが、営業なので仕事に制限があり収入ダウンした。リモートワークに移行後は光熱費が増えた」
- ・「歩合での仕事のため、収入が少なく経済的に困窮している」
- ・「仕事の減少で収入がかなり減少した。転職を考えているが先が見えなく動けない」
- ・「働く時間が短くなった。時給制で残業も許可されないので収入を増やせない」
- ・「就職しようとしたが見つからず諦めた」
- ・「コロナ対策に必要な衛生用品購入で支出が増えている」
- ・「家にいる時間が長いため、光熱費がかかる」 など

【感染への不安】(81件)

- ・「感染した時の生活や子どものことを考えると不安である」
- ・「子どもに熱がでたとき簡単に病院に行けなくなった」
- ・「父親が市外に住んでいて子どもとの面会ができない」
- ・「実家も遠方、頼れる人もいない、万一感染したときのことが非常に不安である」
- ・「とにかく感染しないか心配、感染したら仕事を失い生活ができなくなる」
- ・「感染対策として子どもの行動をどこまで制限すればよいかわからず不安である」
- ・「自分の病院受診に子どもを連れて行くことができず、なかなか受診できない」
- ・「病院に勤務しており、いつ感染するかわからない状況にあるため、子どもに感染しないか、世話はどうしたらいいのか不安な毎日」 など

【子どもの面倒への不安】(41件)

- ・「自分が感染した場合、子どもを預ける場所がない」
- ・「自分の親が感染を怖がり子どもの世話をお願いしてもしてくれない」
- ・「子どものことで周りに頼りにくくなった」
- ・「幼稚園がコロナの影響で休みになってしまうと子どもの面倒を見てくれる人がいなくなる」 など

【その他の意見】(90件)

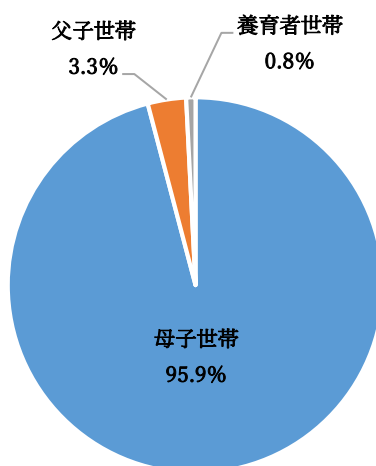
- ・「コロナが子どもの不登校のきっかけになった」
- ・「子どもが学校を休みがちになった」
- ・「子どもが父親との面会をしたがっているが叶わないので、子どもにストレスがたまっている」
- ・「介護施設で働いているため、子どもたちにも行動制限をしまいストレスをためさせてしまっている」
- ・「受験への影響が心配である」
- ・「思うように外出できない」 など

8 世帯の状況について

設問 4 5 あなたの世帯について、あてはまるもの1つを選択してください。

調査に回答した世帯の内訳は、母子世帯が95.9%、父子世帯が3.3%、養育者世帯が0.8%となっています。

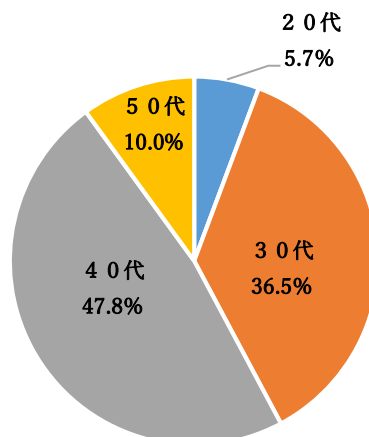
世帯の状況 n=661



設問 4 6 あなたの年齢について、あてはまるもの1つを選択してください。

回答者の年齢は、「20代」が5.7%、「30代」が36.5%、「40代」が47.8%、「50代」が10.0%となっています。

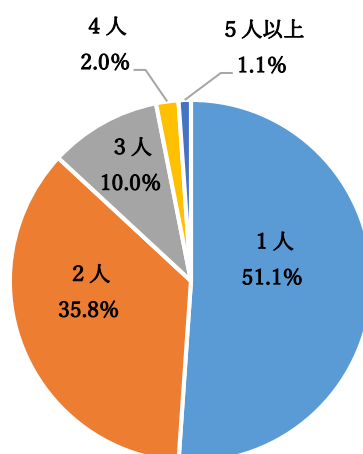
親の年齢 n=661



設問 47 お子さんの人数について、あてはまるもの1つを選択してください。

子どもの人数は、「1人」が51.1%、「2人」が35.8%、「3人」が10.0%、「4人」が2.0%、「5人以上」が1.1%となっています。

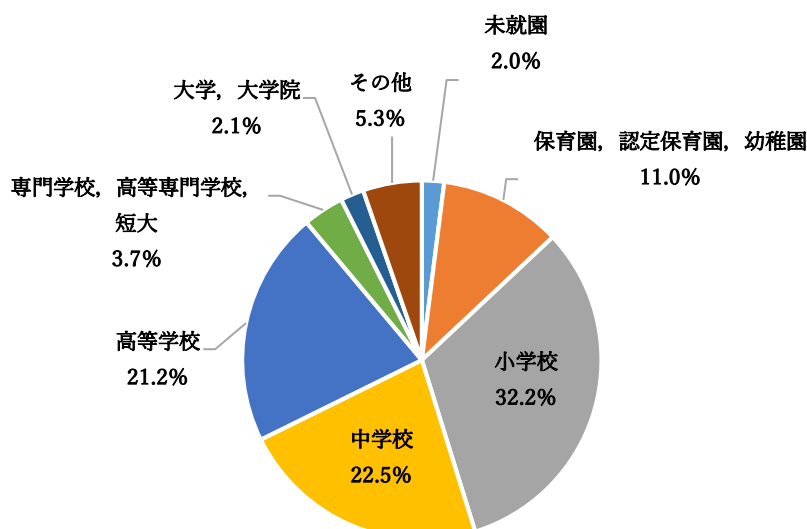
子どもの人数 n=661



設問 48 お子さんの状況について、あてはまるものすべてを選択してください。(複数回答可)

子どもの就学状況は、「保育園、認定保育園、幼稚園」が11.0%、「小学校」が32.2%、「中学校」が22.5%、「高等学校」が21.2%などとなっています。

子どもの就学状況（複数回答可） n=661



9 ひとり親家庭への支援施策について

設問 4 9 ひとり親家庭への支援施策について、ご意見ご要望などがございましたらご記入ください。

ひとり親家庭への支援施策について意見や要望をたずねたところ、経済的支援に関することが128件(回答総数351件の36.5%)、学習・進学支援に関することが60件(同17.1%)、医療費に関することが33件(同9.4%)、就労に関することが18件(同5.1%)、住居に関することが17件(同4.8%)、保育に関することが9件(同2.6%)、養育費に関することが9件(同2.6%)などの意見・要望が寄せられました。

■主なもの

【経済的支援に関すること】(128件)

- ・「給付金が一番助かる」
- ・「現金支給等は早めにしてほしい」
- ・「函館市独自に追加給付金を出してほしい」
- ・「ひとり親かつ障がい児家庭への手厚い支援がほしい」
- ・「家賃、バスや市電運賃の補助制度を導入してほしい」
- ・「児童扶養手当の所得制限をもう少し広くしてほしい」
- ・「児童扶養手当を18歳までではなく、大学卒業の22歳まで延長してほしい」
- ・「児童手当が終わる中学卒業以降は高校卒業まで代替の制度を作ってほしい」
- ・「高校からの方が経済的に厳しいので児童手当を18歳までにしてほしい」
- ・「現況届が代理人で行えないことが不満、平日は仕事で役所に行けない」
- ・「一人目も二人目も三人目もそれぞれお金がかかるので手当は均一にしてほしい」
- ・「通学費の支援があるとありがたい」 など

【学習・進学支援に関すること】(60件)

- ・「子どもの大学、専門学校への進学に援助などしてほしい」
- ・「貧しい家庭でも意欲のある子どもたちが学べるよう、学習や進学にかかる費用をサポートしてほしい」
- ・「18歳から22歳までの学生給付金があれば助かる」
- ・「塾などの教育における経済的な支援を望む」
- ・「学習支援の場がもっと増えてほしい」
- ・「学校の教材費を全額無料にしてほしい」
- ・「市の事業として講師による週1の継続的な学習サポート」
- ・「夏休みや冬休みに勉強を教えてほしい」 など

【医療費に関すること】(33件)

- ・「函館市からの手当や医療費の支援には本当に助けられている」
- ・「治療をしたいことがあっても医療費が高く病院へ行くのを我慢している」
- ・「ひとり親の外来通院にかかる費用を援助してほしい」 など

【就労に関すること】(18件)

- ・「仕事のスキルアップ授業のネット開講、PC レンタルなど就職のための対策」
- ・「未就学児がいる働く意欲のあるお母さんの環境サポートをしてほしい」 など

【住居に関すること】(17件)

- ・「公営住宅に入居中は別の公営住宅への申し込みができない」
- ・「家賃補助があると一番生活が楽になると感じる」
- ・「ひとり親家庭専用のアパート（家賃安め）があると助かる」 など

【保育等に関すること】(9件)

- ・「保育日の見直し、カレンダー通り保育園が休みだと何かと困る」
- ・「病児保育所を増やしてほしい」
- ・「小学生も対象とした夜間保育がほしい」 など

【養育費に関すること】(9件)

- ・「養育費の義務化、罰則などの法律が必要」
- ・「共同親権の法整備と離婚前に子育て支援環境の取り決めに強化してほしい」 など

【食料支援に関すること】(8件)

- ・「土日だけの配布だと土日に仕事がある人はもらうことができない」 など

【その他】(69件)

- ・「働きながら平日に役所に相談に行くなんて本当に無理」
- ・「支援も窓口に行かないと手続きすらできない。平日に休みを取って行くため収入に影響する。」
- ・「気軽に小さな悩み事でも聞いてくれるところがあるといい」
- ・「何を支援しているのかわからない、情報をどこで知ればいいのか」
- ・「オンラインに対応するためのネット環境の充実支援」 など

Ⅲ まとめ

- ひとり親家庭の方は、家計の状況の結果から、経済的に厳しい世帯が多く、一年前との比較においても、6割を超える世帯が「悪くなった」と答えております。
新型コロナウイルス感染症の影響で現在困っていることについての自由記載において、寄せられた回答の6割近くが、「経済的な不安」に関するものであることから、新型コロナウイルス感染症拡大により、大きな影響を受けているものと考えられます。
- ひとり親家庭の方の現在の雇用形態については、「正社員、正職員（フルタイム）」が多いものの、経済的な自立のためには、より安定した収入が得られる職業への就業が必要と考えられ、また、ひとり親自身においても、就業に向けた資格取得やパソコンスキル等の重要性の認識が高いことから、就業に関する相談や技能習得、就業情報提供に至るまでの一貫した就業支援サービスを提供する母子家庭等就業・自立支援センターとの連携を強化するほか、より高い収入を得るための資格取得に関する各種給付金事業の活用を促進することにより、経済的自立が図られるよう支援していく必要があります。
- ひとり親家庭の方の悩み事の相談に応じるひとり親家庭サポート・ステーションについては、「相談時間が合わない」との回答が一定程度あり、自由記載でもこうした声が寄せられていることから、平日の相談時間の延長（時間外相談）などの実施に向けて検討を進める必要があります。
- 子どもの学習支援については、ひとり親家庭の児童などが対象の「ひとり親家庭等子どもの学習支援事業」や生活困窮者世帯の中学生が対象の「中学生学習支援等事業」などのほか、学校や地域等と連携した取り組みを進め、子どもの学習習慣の定着や学習の理解度を高めていく必要があります。
- 養育費・面会交流については、専門的な知識が求められることが多いことから、相談があった際には専門窓口の周知・啓発を図るほか、個々の事例に応じて職員が同行するなど、確実に専門窓口につながるよう努めていく必要があります。
- 自由記載に寄せられた各意見や要望については、関係所管部局と連携を図りながら、施策への反映に努めていく必要があります。

資料編

函館市ひとり親家庭に関するアンケート調査

日頃から、皆様におかれましては、本市の子ども・子育て施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、本市では、ひとり親家庭等の方を対象にアンケート調査を実施することといたしましたので、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本調査は、市において、今後の支援策の参考とするために実施するものであり、ご回答いただいた結果を他の目的に使用することはありません。

1 あなたの家計の状況についておうかがいします。

設問1 あなたの現在の家計の状況について、もっとも近いものを1つを選択してください。(住宅ローンや車のローンなども支出に含めてお答えください。)

1. 黒字であり毎月貯金している
2. 黒字ではあるが貯金はしていない
3. 黒字でもなく赤字でもなくぎりぎりである
4. 赤字であり貯金を取り崩している
5. 赤字であり借金をして生活している

設問2 1年前と比べてあなたの家計はどう変わりましたか。あてはまるもの1つを選択してください。

1. 良くなった
2. 悪くなった
3. 変わらない

設問3 設問2で「1. 良くなった」「2. 悪くなった」を選択された方はあてはまるものを選択してください。(複数回答可)

1. 仕事が増え収入が増加した
2. 就職して収入が得られるようになった
3. 食費等の支出が減った
4. 仕事が減り収入が減少した
5. 離職して収入がなくなった
6. 食費等の支出が増えた
7. マスクや消毒液など感染対策の費用が増えた
8. その他

設問4 設問3で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

()

2 仕事についておうかがいします。

設問5 あなたの現在の雇用形態について、あてはまるものを選択してください。(複数回答可)

1. 正社員・正職員（フルタイム）
2. パート・アルバイト（1日4～5時間程度）
3. 派遣社員・契約社員
4. 会社・団体等の役員
5. 自営
6. 内職
7. その他
8. 働いていない

設問6 設問5で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
()

設問7 設問5で「8. 働いていない」を選択された方はその主な理由について、あてはまるもの1つを選択してください。

1. 病気・けが
2. 親族の世話・介護
3. 求職活動中
4. 資格取得等のための学校に通っている
5. 子どもの預け先が見つからない
6. 働かなくても生活ができています
7. その他

設問8 設問7で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
()

設問9 設問7で「3. 求職活動中」を選択された方について、どのような雇用形態の仕事に就きたいと考えていますか。あてはまるもの1つを選択してください。

1. 正社員・正職員（フルタイム）
2. パート・アルバイト（1日4～5時間程度）
3. 派遣社員・契約社員
4. 短時間勤務（1日2～3時間程度あるいは週、月に少日数）
5. その他

設問10 設問9で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
()

設問11 設問7で「3. 求職活動中」を選択された方について、どのような職種の仕事に就きたいと考えていますか。あてはまるもの1つを選択してください。

1. 専門的・技術的職業（看護師，保育士など）
2. 事務的職業
3. 販売の職業（小売店販売員，保険営業員など）
4. サービスの職業（介護員，調理，接客・給仕など）
5. 生産工程の職業（製造工など）

6. 運搬・清掃等の職業（配達員、ビル清掃員など）
7. その他

設問 12 設問 1 1 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
()

設問 13 働いている方におうかがいします。あなたの職場は、ひとり親家庭に対して理解がありますか、あてはまるもの 1 つを選択してください。

1. 理解がある
2. 理解がない
3. どちらともいえない

設問 14 設問 1 3 で「1. 理解がある」「2. 理解がない」を選択された方は、どのような点か具体的に記入してください。
()

設問 15 今後働く場合にどのような能力（スキル）が必要と考えますか。あてはまるもの 1 つを選択してください。

1. パソコン等の ICT 能力
2. 専門業務知識
3. 接客・電話対応などの対人（コミュニケーション）能力
4. その他

設問 16 設問 1 5 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
()

設問 17 仕事を決める際の優先順位について、1 つを選択してください。

1. 勤務時間
2. 通勤・子どもの送迎に便利な場所
3. 給料・待遇
4. 資格・経験を生かせる仕事
5. やりたい仕事
6. 職場の雰囲気
7. その他

設問 18 設問 1 7 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
()

3 ひとり親家庭サポート・ステーションについておうかがいします。

設問 19 市ではひとり親家庭の皆さんの悩みごとの相談に応じるため、「ひとり親家庭サポート・ステーション」を設置していますが、あてはまるもの 1 つを選択してください。

1. 利用したことがある

2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らなかった

設問 20 設問 19 で「1. 利用したことがある。」を選択された方は、感想をお知らせください。

1. 良かった
2. 悪かった
3. どちらでもない

設問 21 設問 20 で「1. 良かった」「2. 悪かった」を選択された方は、どういう点が具体的に記入してください。

()

設問 22 設問 19 で「2. 知っているが、利用したことはない。」を選択された方は、利用しない理由について、あてはまるもの 1 つを選択してください。

1. 相談する必要がなかった
2. 相談時間が合わなかった（相談時間：8：45～17：30）
3. 相談場所が使いづらかった（開設場所：市役所、亀田支所）
4. 相談するのに抵抗感があった
5. その他

設問 23 設問 22 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

()

4 お子さんの学習についておうかがいします。

設問 24 あなたはお子さんに対する学習支援について、どのようなことを期待しますか。あてはまるもの 1 つを選択してください。

1. 受験や進学に向けた学力の向上、学力強化（学習塾など）
2. 授業に遅れないための基礎学力の定着（アフタースクールなどの地域人材を活用した学習支援など）
3. その他

設問 25 設問 24 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

()

設問 26 お子さんを学習塾に通わせていますか。あてはまるものを 1 つを選択してください。

1. 通わせている
2. 通わせていない

設問 27 設問 26 で「1. 通わせている」を選択された方は、お子さんの学年と人数を記載してください。

()

設問 28 設問 26 で「2. 通わせていない」を選択された方は、理由について、あてはまるもの 1 つを選択してください。

1. 必要としないから
2. 通信教育を利用しているから
3. 家庭教師を利用しているから
4. 近くに塾がないから
5. 受講料が高いから
6. その他

設問 29 設問 28 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

()

設問 30 皆さんにおうかがいします。学習塾に通わせるとしたら何年生からが望ましいと思いますか。あてはまるもの 1 つを選択してください。

1. 小学生（1年生～3年生）
2. 小学生（4年生～6年生）
3. 中学1年生
4. 中学2年生
5. 中学3年生
6. 高校1年生
7. 高校2年生
8. 高校3年生

5 養育費についておうかがいします。

設問 31 あなたがひとり親になった理由について、あてはまるもの 1 つを選択してください。

1. 離婚
2. 未婚
3. 死別
4. その他

※ 設問 31 で「3. 死別」「4. その他」を選択された方は設問 44 にお進みください。

設問 32 養育費について、あてはまるもの 1 つを選択してください。

1. 養育費の取決めをし、履行されている
2. 養育費の取決めをし、何回か受け取ったが今は履行されていない
3. 養育費の取決めはしたが、一回も履行されていない
4. 養育費の取決めはしていない
5. その他

設問 33 設問 32 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。

()

設問 34 設問 3 2 で「4. 養育費の取決めはしていない」を選択された方におうかがい
します。あてはまるものすべてを選択してください

1. 自分の収入等で経済的に問題がない
2. 養育費を請求することを知らなかった
3. 相手に支払う意思や能力がないと思った
4. 相手が応じようとしなかった
5. 相手と関わりたくなかった
6. 取決め交渉はしたが、まとまらなかった
7. 現在交渉中または今後交渉予定
8. その他

設問 35 設問 3 4 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
()

設問 36 養育費の取決めについて誰かに相談しましたか。あてはまるものすべてを選択
してください。

1. 親
2. 親以外の親族
3. 友人・知人
4. 市の相談員
5. 民間の相談員
6. 弁護士
7. 法テラス
8. 家庭裁判所
9. その他
10. 誰にも相談しなかった

設問 37 設問 3 6 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
()

6 面会交流についておうかがいします。

設問 38 面会交流について、あてはまるもの 1 つを選択してください。

1. 面会交流の取決めをし、現在も行っている
2. 面会交流の取決めをしたが、現在は行っていない
3. 面会交流の取決めをしたが、行ったことがない
4. 面会交流の取決めをしていない
5. その他

設問 39 設問 3 8 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
()

設問 40 設問 3 8 で「4. 面会交流の取決めをしていない」を選択された方におうかが
いします。あてはまるものすべてを選択してください。

1. 子どもの連れ去りや虐待のおそれがある
2. 面会交流の取決めをできることを知らなかった
3. 子どもが会いたがらなかった
4. 相手が応じようとしなかった
5. 相手と関わりたくなかった
6. 相手が養育費を支払わないから
7. 取決めをしなくても交流ができている
8. 取決めの交渉をしたが、まとまらなかった
9. 現在交渉中または今後交渉予定
10. その他

設問 41 設問 4 0 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
()

設問 42 面会交流の取決めについて誰かに相談しましたか。あてはまるものすべてを選択してください。

1. 親
2. 親以外の親族
3. 友人・知人
4. 市の相談員
5. 民間の相談員
6. 弁護士
7. 法テラス
8. 家庭裁判所
9. その他
10. 誰にも相談しなかった

設問 43 設問 4 2 で「その他」を選択された方は、具体的に記入してください。
()

7 新型コロナウイルス感染症の影響についておうかがいします。

設問 44 新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたが現在困っていることについて、記入してください。
()

8 あなたの世帯の状況についておうかがいします。

設問 45 あなたの世帯にあてはまるもの1つを選択してください。

1. 母子世帯
2. 父子世帯
3. 養育者世帯

設問 46 あなたの年齢について、あてはまるもの1つを選択してください。

1. 10代

2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70歳以上

設問 47 お子さんの人数について、あてはまるもの1つを選択してください。

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上

設問 48 お子さんの状況について、あてはまるものすべてを選択してください。

1. 未就園
2. 保育園, 認定保育園, 幼稚園
3. 小学校
4. 中学校
5. 高等学校
6. 専門学校, 高等専門学校, 短大
7. 大学, 大学院
8. その他

9 ひとり親家庭への支援施策について

設問 49 ひとり親家庭への支援施策について、ご意見ご要望などがございましたらご記入ください。

()

アンケートは以上で終了です。

ご協力ありがとうございました。

お問い合わせ先

部署名 函館市子ども未来部子育て支援課

電話番号 0138-21-3905

メールアドレス kosodate@city.hakodate.hokkaido.jp